

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第1区分
 【発行日】令和6年4月4日(2024.4.4)

【国際公開番号】WO2023/282146
 【出願番号】特願2023-533562(P2023-533562)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/052(2010.01)
 H 0 1 M 10/0562(2010.01)
 H 0 1 M 4/48(2010.01)
 H 0 1 M 4/485(2010.01)
 H 0 1 M 4/62(2006.01)
 H 0 1 B 1/08(2006.01)
 H 0 1 B 1/06(2006.01)

10

【F I】

H 0 1 M 10/052
 H 0 1 M 10/0562
 H 0 1 M 4/48
 H 0 1 M 4/485
 H 0 1 M 4/62 Z
 H 0 1 B 1/08
 H 0 1 B 1/06 A

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年12月4日(2023.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

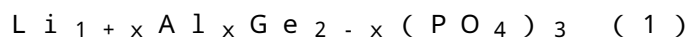
【特許請求の範囲】

【請求項1】

正極活物質層を有する正極と、負極活物質層を有する負極と、前記正極活物質層と前記負極活物質層との間にある固体電解質層とを備え、

前記負極活物質層は、チタン化合物を含み、

前記固体電解質層は、下記の式(1)で表されるLAGP化合物を含み、



(ただし、式(1)において、xは、 $0 < x < 1$ を満たす数である。)

前記負極活物質層内及び前記負極活物質層と前記固体電解質層との間の界面のいずれか一方又は両方が、下記の式(2)で表されるLATGP化合物を含む、全固体電池。

40



(ただし、式(2)において、y及びzは、 $0 < y < 1$ 、 $0 < z < 1$ を満たす数である。)

【請求項2】

前記チタン化合物は、 $T i O_2$ 及び $L i_4 T i_5 O_{12}$ のいずれか一方又は両方を含む、請求項1に記載の全固体電池。

【請求項3】

前記式(2)において、y及びzは、 $0.11 < y + z < 1$ 及び $0.01 < z / y < 9$ を満たす数である、請求項1に記載の全固体電池。

【請求項4】

50

前記負極活物質層は、炭素系材料及び前記式(1)で表されるLAGP化合物のいずれか一方又は両方を含む、請求項1に記載の全固体電池。

【請求項5】

前記固体電解質層は、空隙率が40%以下である、請求項1に記載の全固体電池。

10

20

30

40

50